

市民アンケート調査結果報告書

平成22年10月

足 利 市

目 次

1 調査の概要	1
① 調査の目的	1
② 調査の方法	1
③ 調査項目	1
④ 回収状況	1
⑤ 留意点	1
2 調査結果	2
(1) 基本属性	2
① 性別	2
② 年齢	2
③ 職業	3
④ 通勤・通学先	3
⑤ 居住年数	4
⑥ 家族構成	4
⑦ 住宅	5
⑧ 居住地区	5
(2) 足利市総合計画での取り組み	6
① 満足度	6
①—2 満足度(加重平均値)	7
①—3 満足度(加重平均値)経年変化	8
② 重要度	9
②—2 重要度(加重平均値)	10
②—3 重要度(加重平均値)経年変化	11
■ 満足度上位5位	12
■ 重要度上位5位	13
■ 満足度と重要度の関連(分布図)	14
■ 自由記載意見等	15
(3) 市民の生活実践	17
① ボランティア活動等への参加	17
② 健康づくりのための実践	18
(4) 情報について	19
① 「あしかがみ」の閲読	19
② 足利市ホームページの閲覧	20
③ 市政情報の入手手段	21
④ 「市議会だより」の閲読	22
(5) 今後の人口に対する本市の取り組み	23
3 アンケート調査票	

1 調査の概要

① 調査の目的

足利市では、第6次総合計画に基づいたまちづくりを進めていますが、市民が日常生活を通して感じる市の取り組みに対する満足度、重要度等の意見をお聴きし、総合計画の進行管理に役立てようとするものです。

② 調査の方法

- (1) 対象者 住民登録する満20歳以上80歳未満の市民1,500人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出（H22.5.1現在）
- (3) 調査方法 郵送調査（ハガキによる催告1回）
- (4) 調査期間 平成22年5月20日～6月11日

③ 調査項目

- (1) 基本属性
- (2) 足利市総合計画での取り組み
- (3) 市民の生活実践
- (4) 情報について
- (5) 今後の人口に対する本市の取り組み
- (6) 自由意見

④ 回収状況

- (1) 配付数 1,500
- (2) 有効回収数 846
- (3) 有効回収率 56.4%

■ 性別

	男	女	不明
配付数	751	749	
有効回収数	403	439	4
有効回収率	53.7%	58.6%	

■ 年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
配付数	170	269	250	269	328	214	
有効回収数	76	108	135	160	217	146	4
有効回収率	44.7%	40.1%	54.0%	59.5%	66.2%	68.2%	

■ 地区別

	旧市内	毛野・富田	三重・山前・三和・ 葉鹿・小俣	北郷・名草	山辺・矢場川・御厨・ 久野・梁田・筑波	不明
配付数	276	218	393	159	454	
有効回収数	170	128	205	90	245	8
有効回収率	61.6%	58.7%	52.2%	56.6%	54.0%	

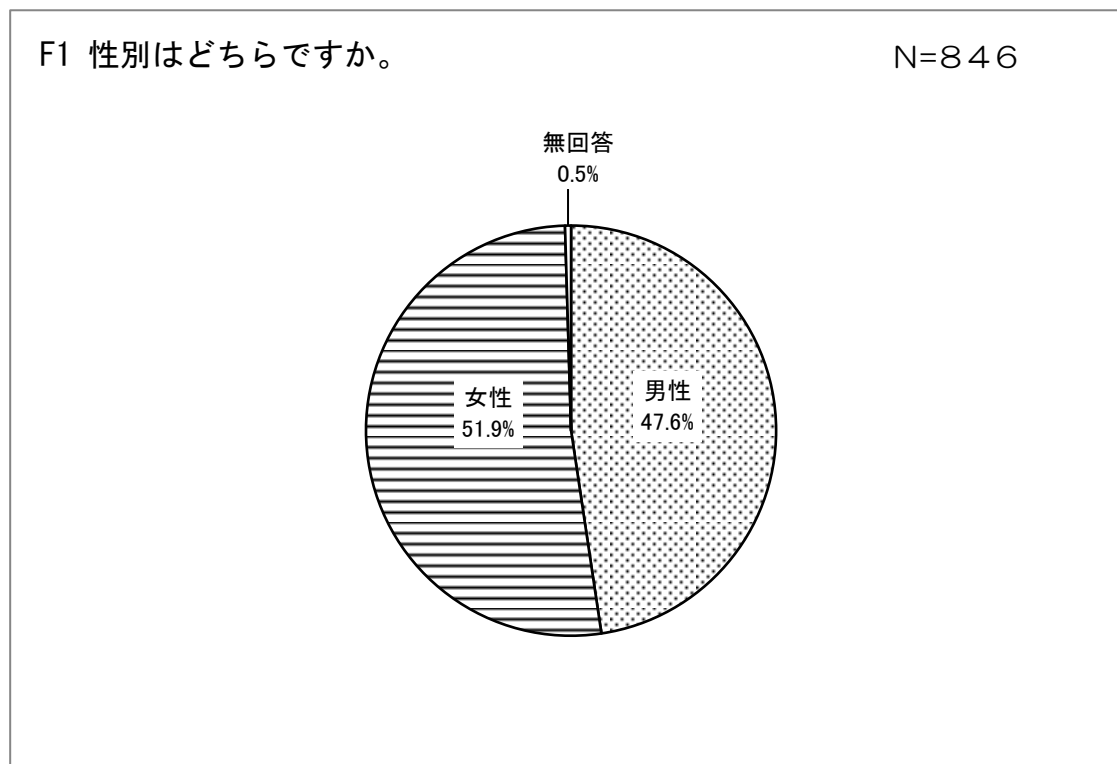
⑤ 留意点

割合は、小数点以下第2位を四捨五入のため、合計が100%とならない場合があります。

2 調査結果

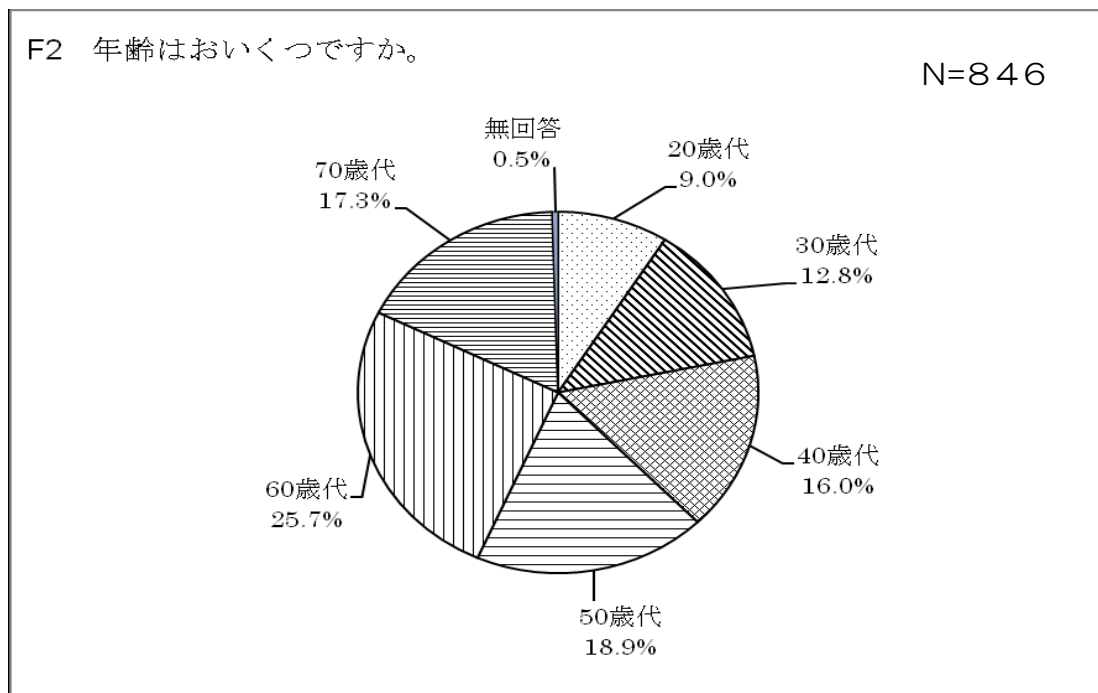
(1) 基本属性

① 性別



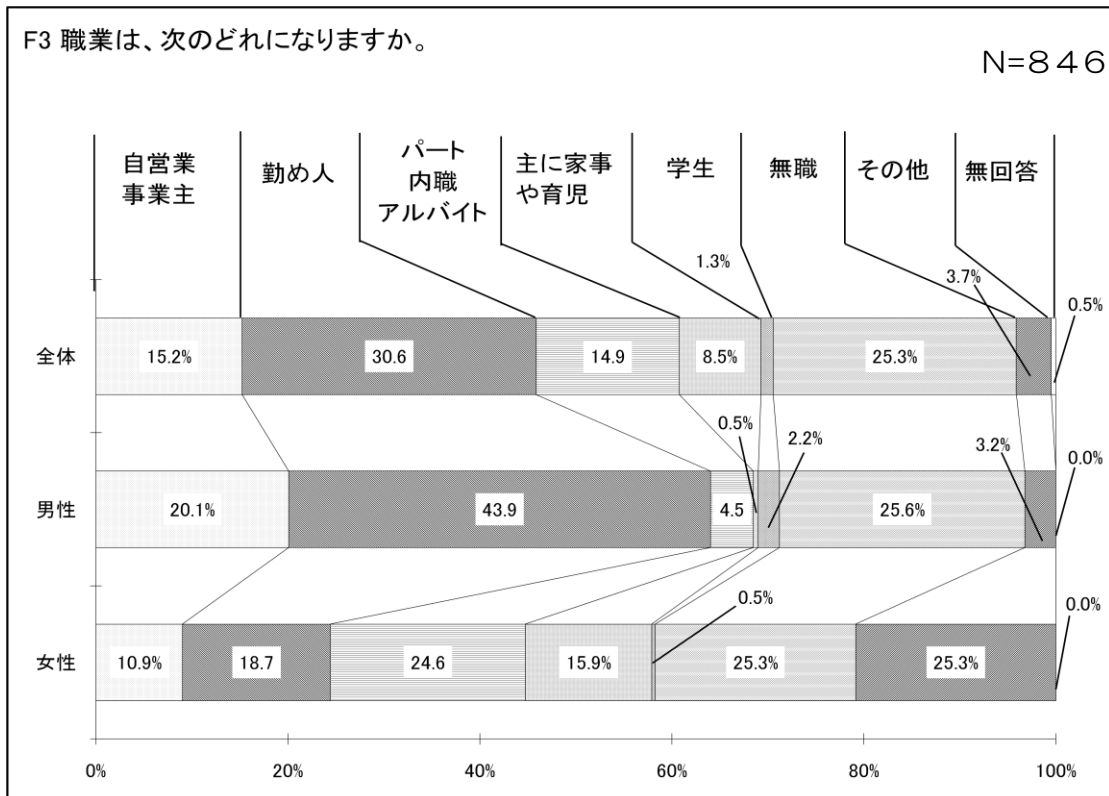
性別は、「女性」が51.9%、「男性」が47.6%となっています。

② 年齢



年齢は、「60歳代」が25.7%で最も多く、次いで「50歳代」、「70歳代」となっています。

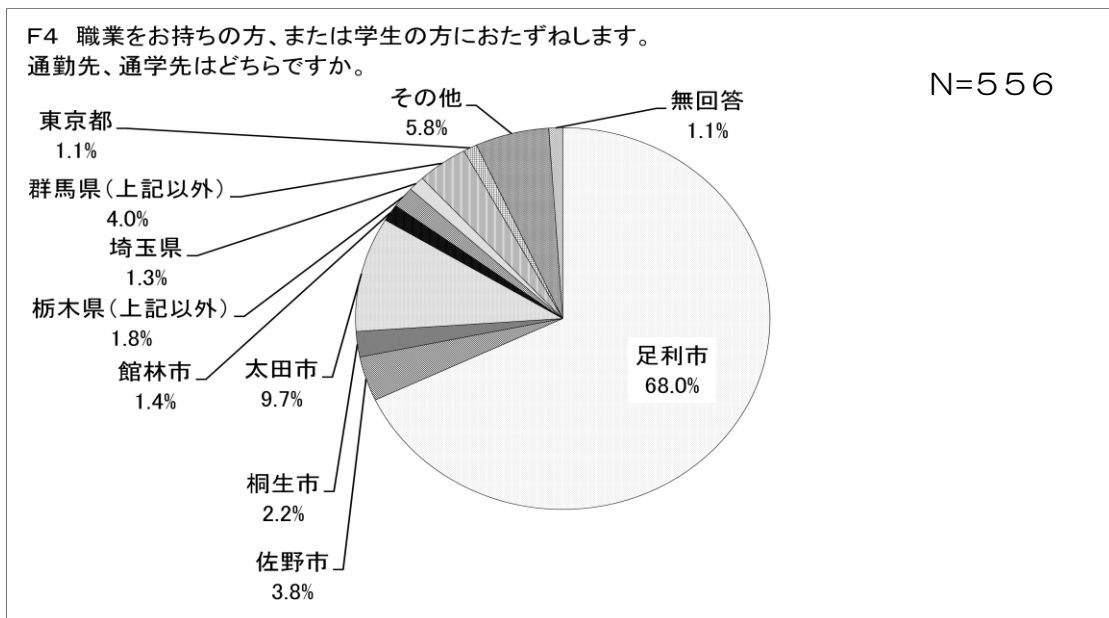
③ 職業



職業は「勤め人」が30.6%、「自営業・事業主」が15.2%、「パート・内職・アルバイト」が14.9%となっており、合計した60.7%の方が『働いている方』となります。

『働いている方』の割合は、男性が68.5%、女性が54.2%となっています。

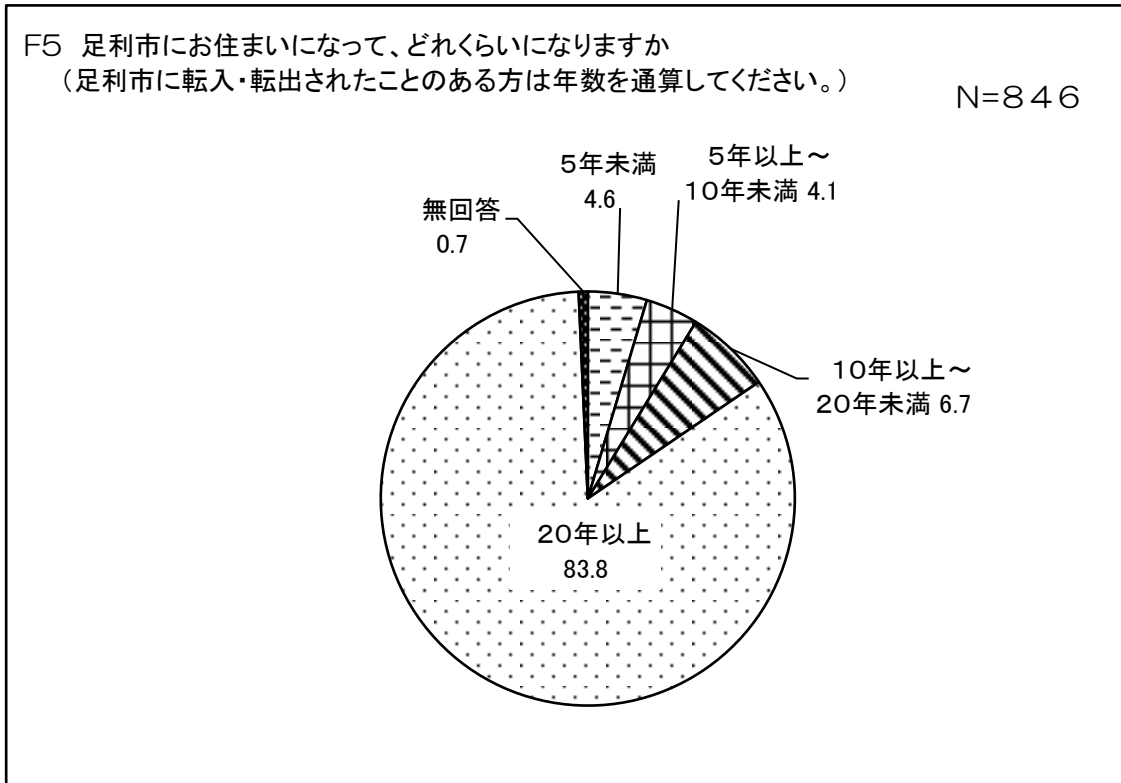
④ 通勤・通学先



『働いている方』の通勤・通学先は、「足利市内」の68.0%が最も多く、次いで「太田市」が9.7%、「佐野市」が3.8%となっており、「両毛都市圏以外の群馬県」が4.0%となっています。

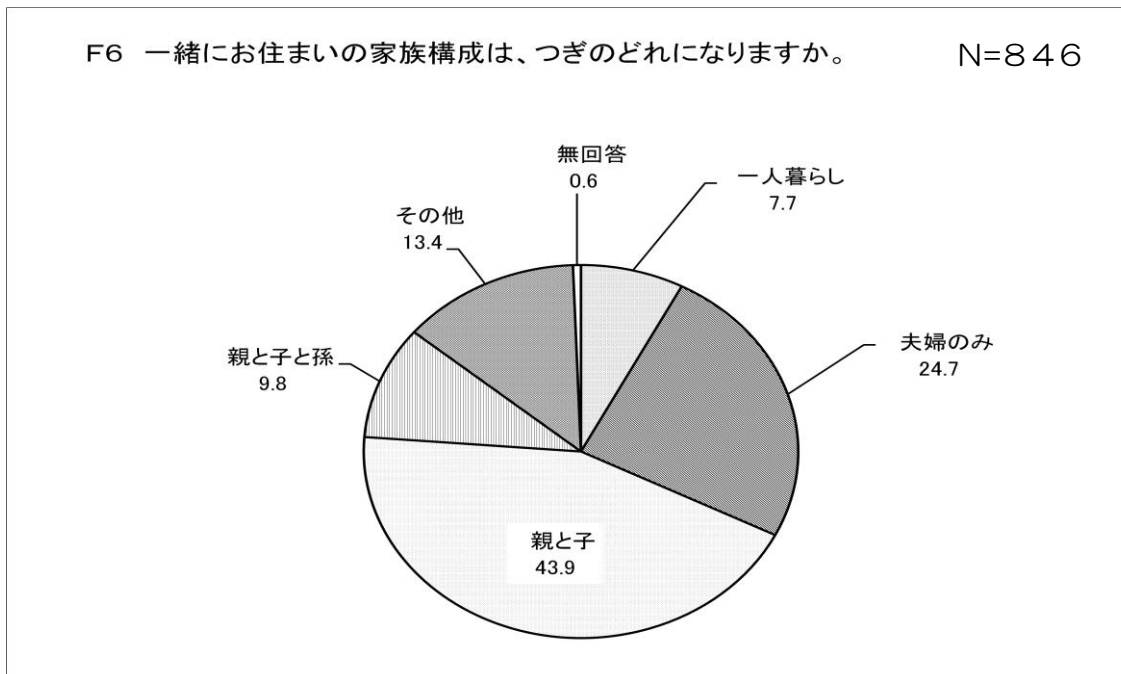
(なお、回答者のうち、「学生」は11人であり、全体の傾向に対する影響は少ない。)

⑤ 居住年数



居住年数は、「20年以上」が83.8%と大多数を占め、次いで「10年以上～20年未満」が6.7%、「5年未満」が4.6%となっています。

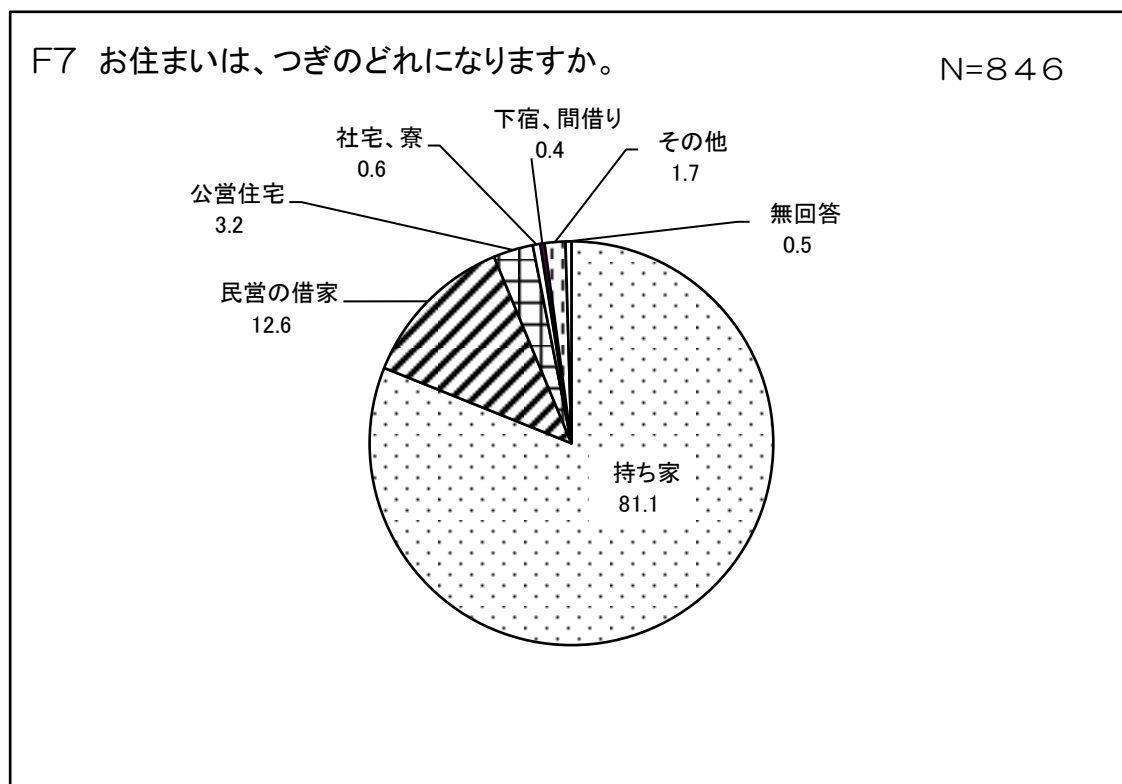
⑥ 家族構成



家族構成は、「親と子」が43.9%、「夫婦のみ」が24.7%、「親と子と孫」が9.8%となっています。

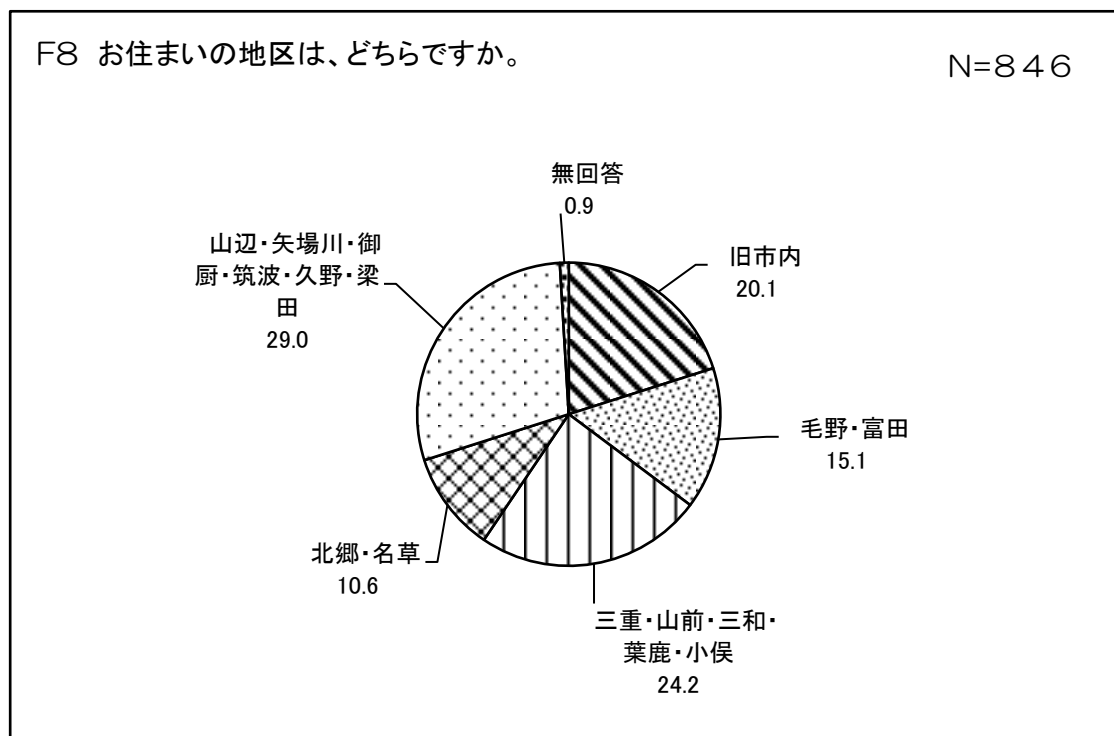
「親と子」、「夫婦のみ」に「一人暮らし」を加えた『核家族』の割合は、76.3%となっています。

⑦ 住 宅



自宅は、「持ち家」が81.1%で圧倒的に多く、「民営の借家」、「公営住宅」、「社宅、寮」、「下宿、間借り」の合計が16.8%となっています。

⑧ 居住地区



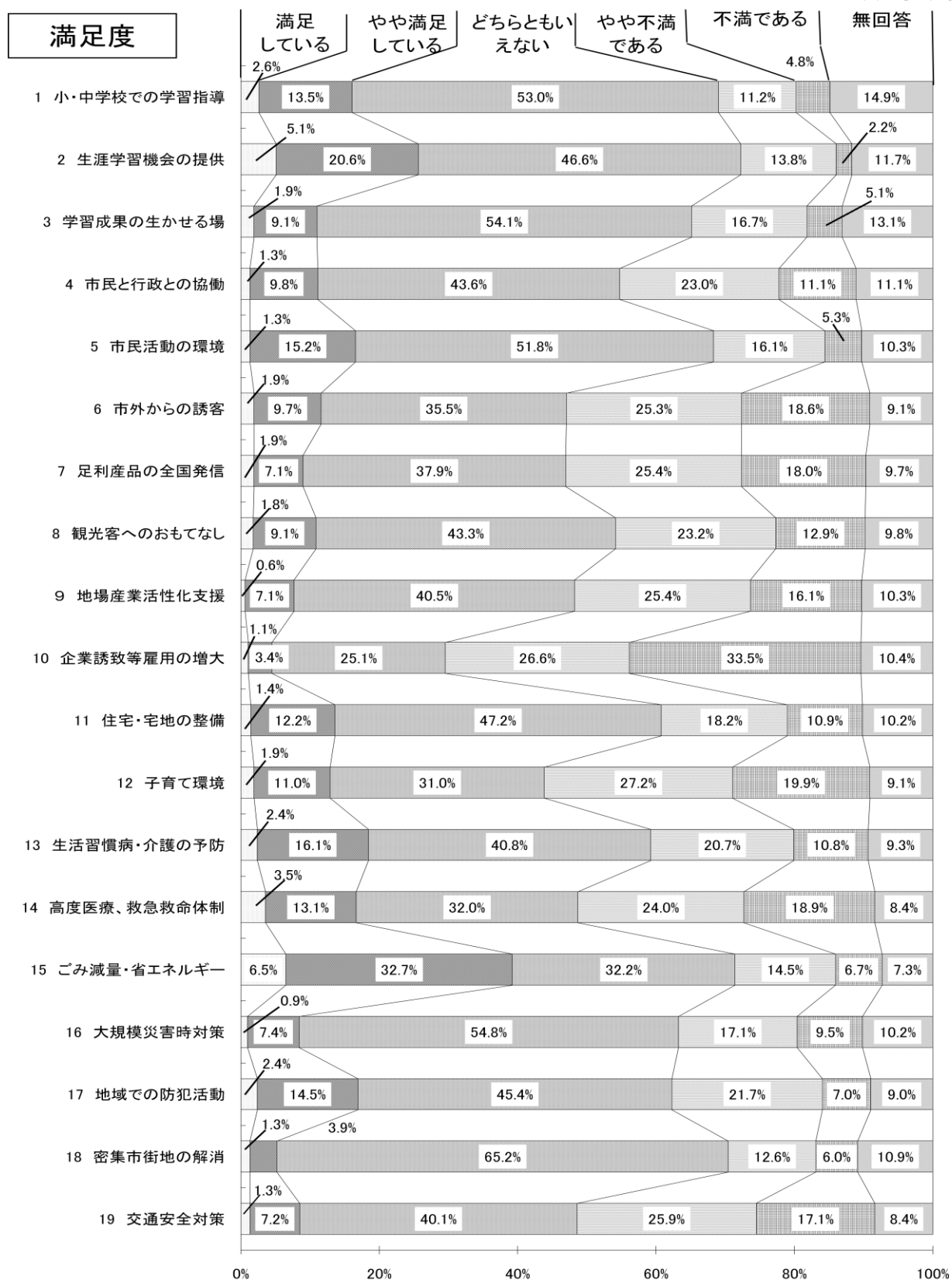
市内を5つのブロックに分けた居住地区は、南部の「山辺・矢場川・御厨・筑波・久野・梁田」が29.0%、西部の「三重・山前・三和・葉鹿・小俣」が24.2%、「旧市内」が20.1%、東部の「毛野・富田」が15.1%、北部の「北郷・名草」が10.6%となっています。

(2) 足利市総合計画での取り組み

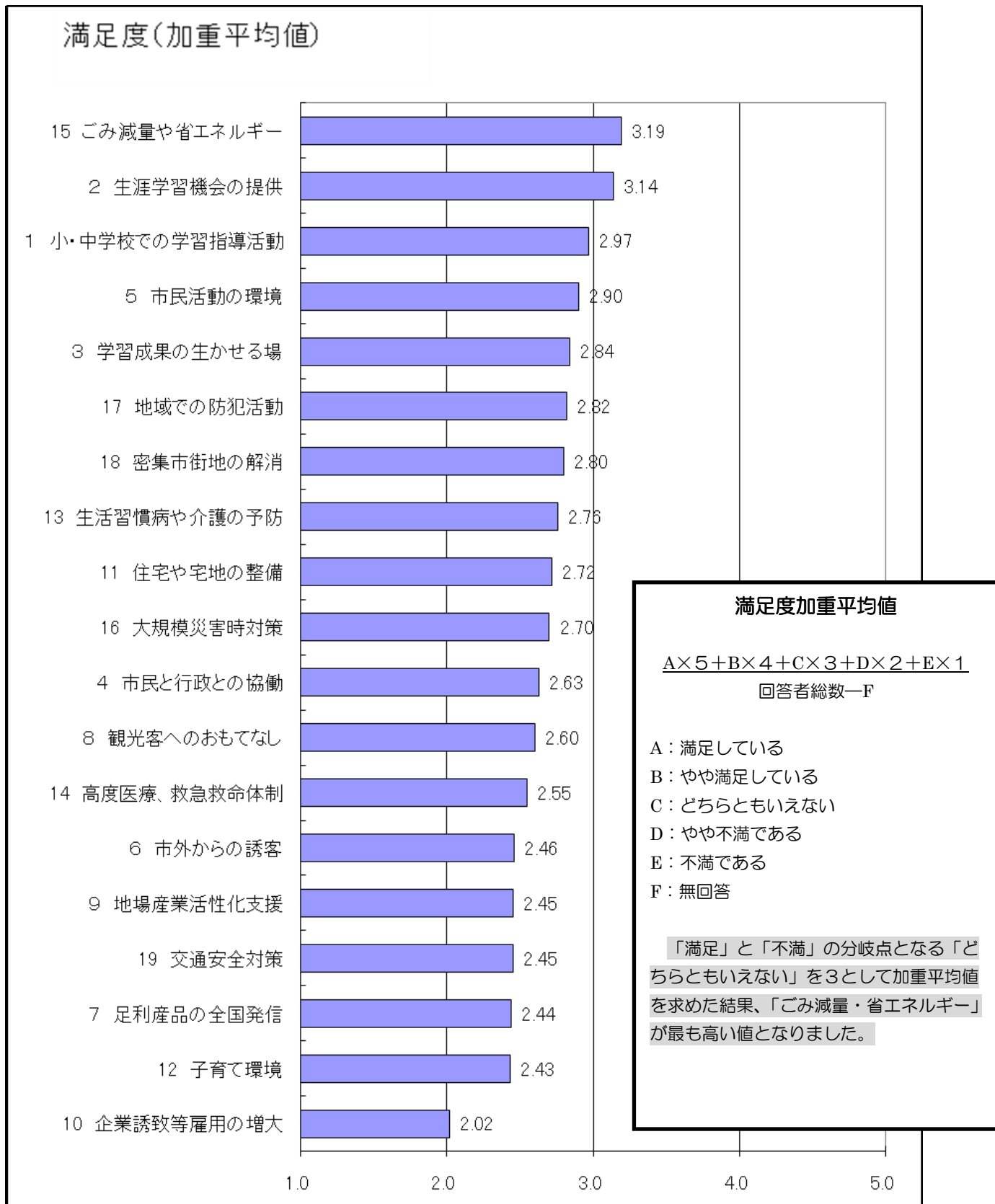
①満足度

問1 本市が進めている取り組みに満足していますか。また、その重要性についてどうお考えですか。それぞれの項目について、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

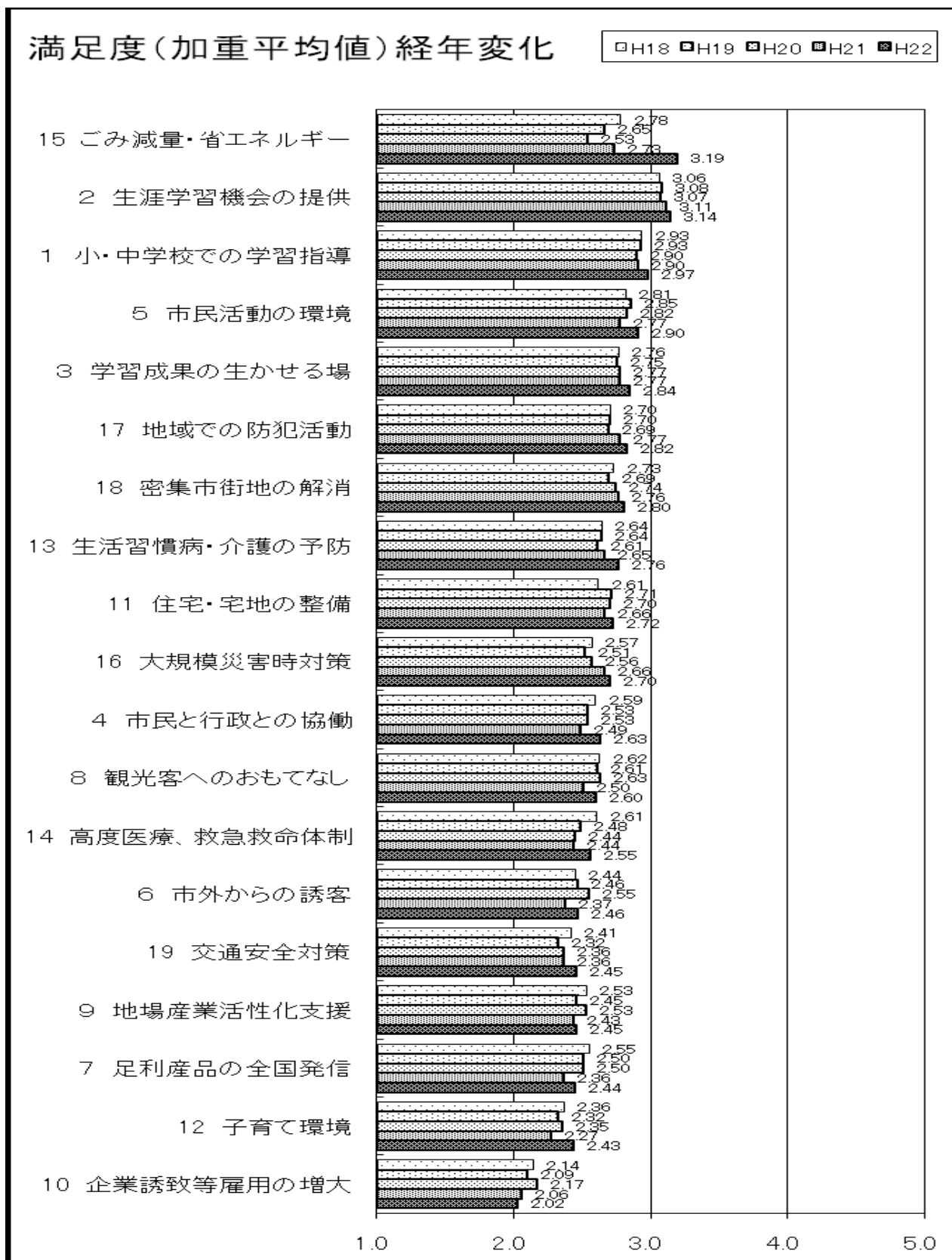
N=846



① — 2 満足度（加重平均値）



① ー 3 満足度（加重平均値）経年変化



② 重要度

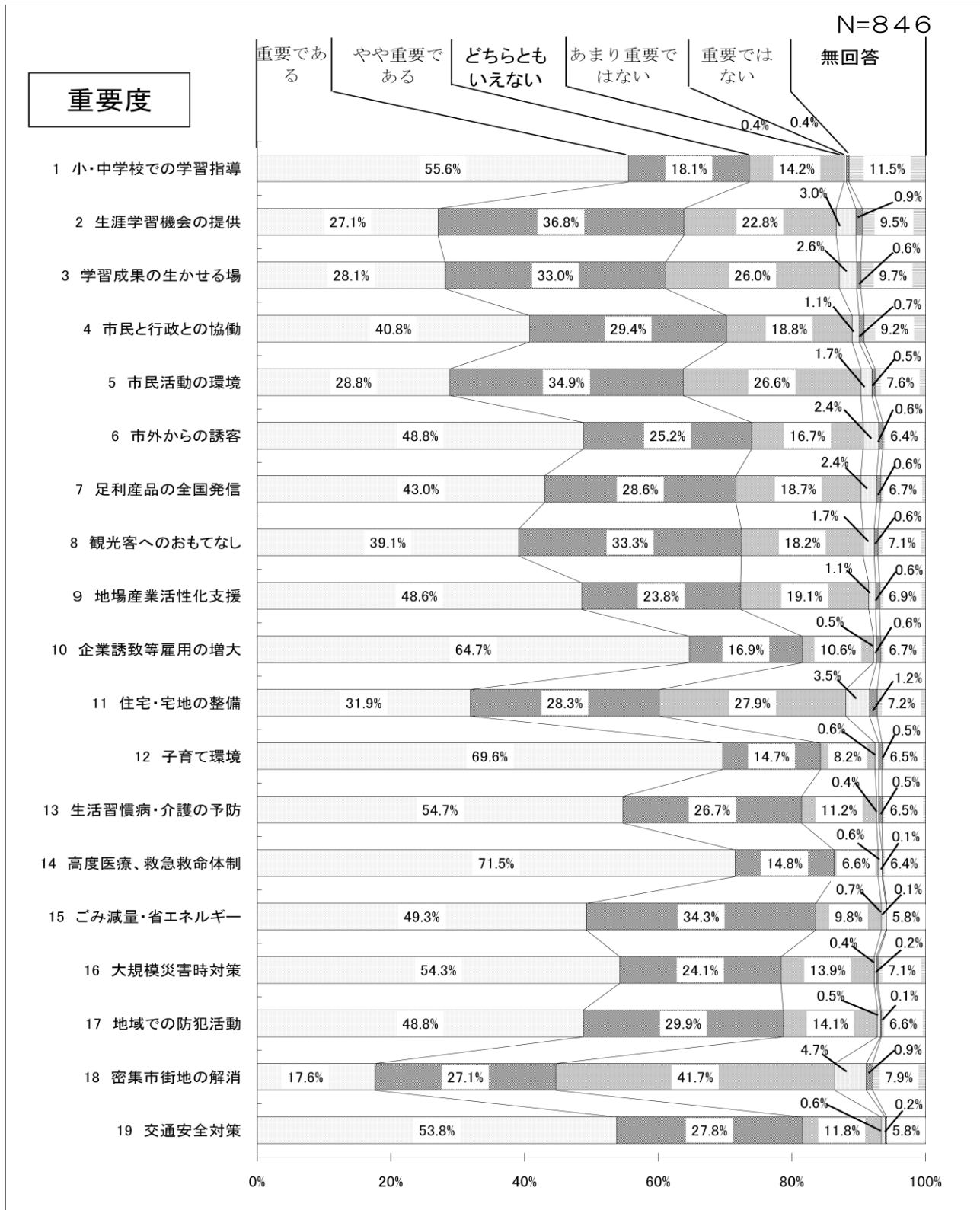
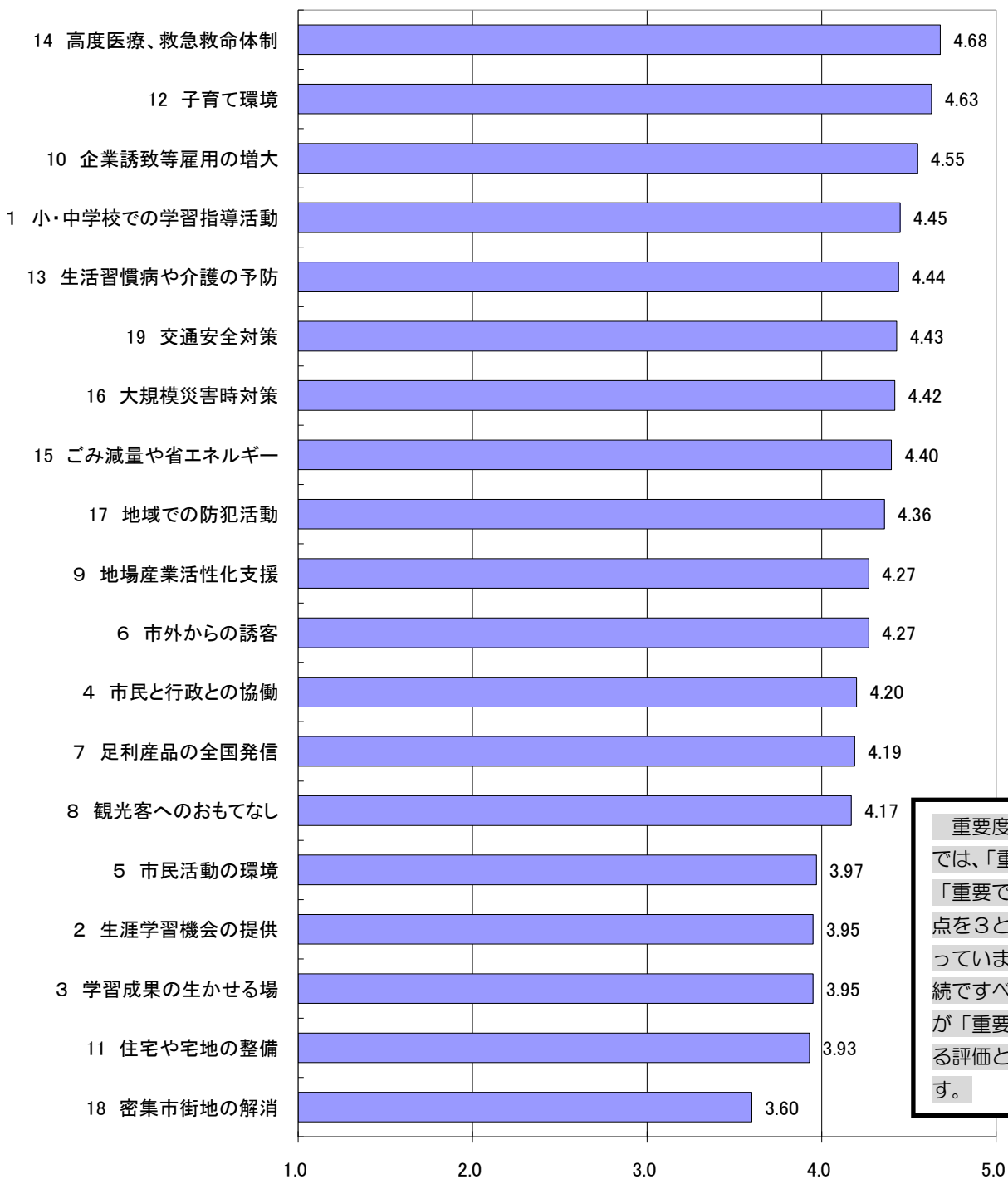
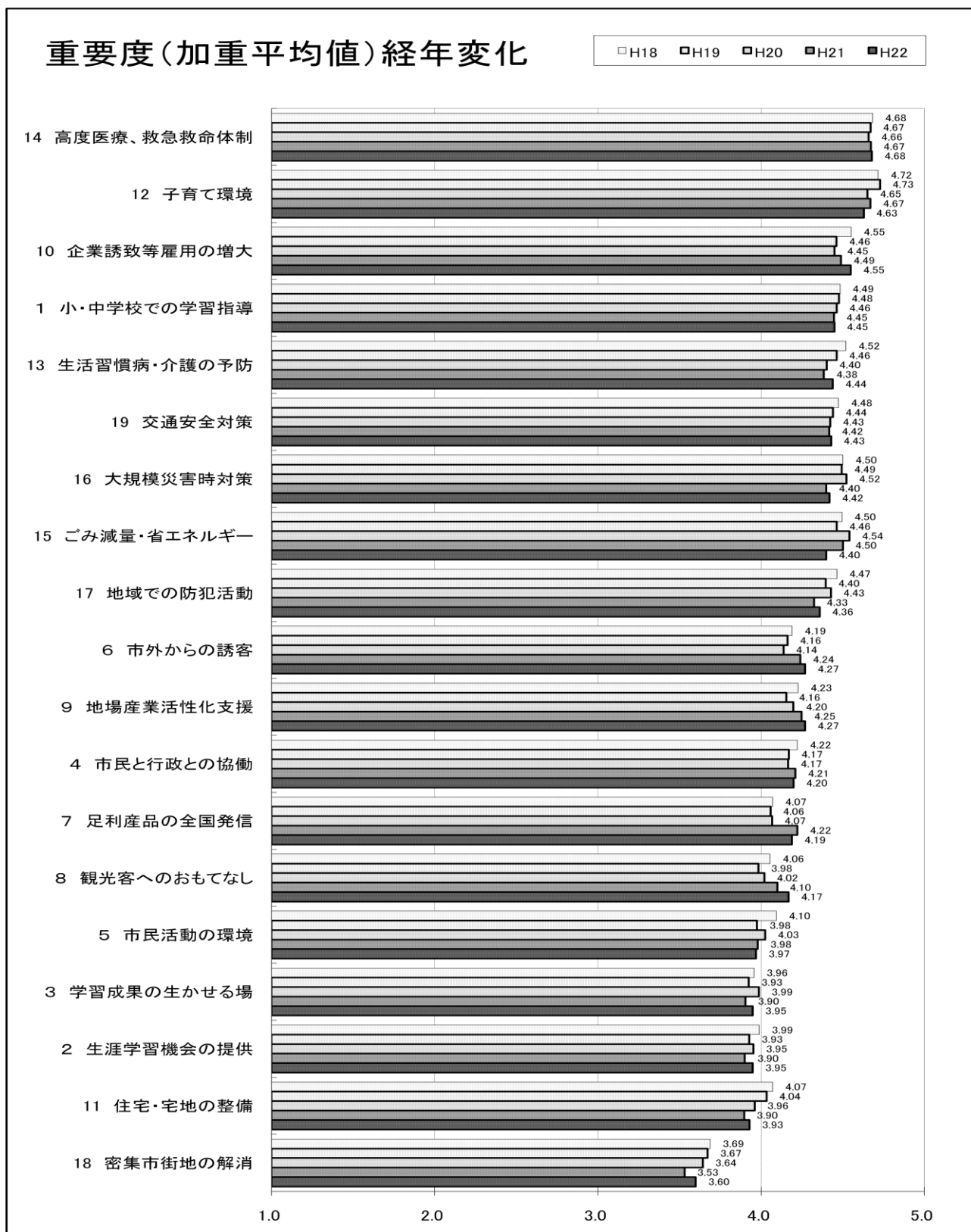


図2 重要度（加重平均値）



重要度の加重平均値では、「重要である」と「重要でない」の分岐点を3とする数値となっていますが、5年連続ですべての取り組みが「重要」側に位置する評価となっています。

② 一3 重要度（加重平均値）経年変化



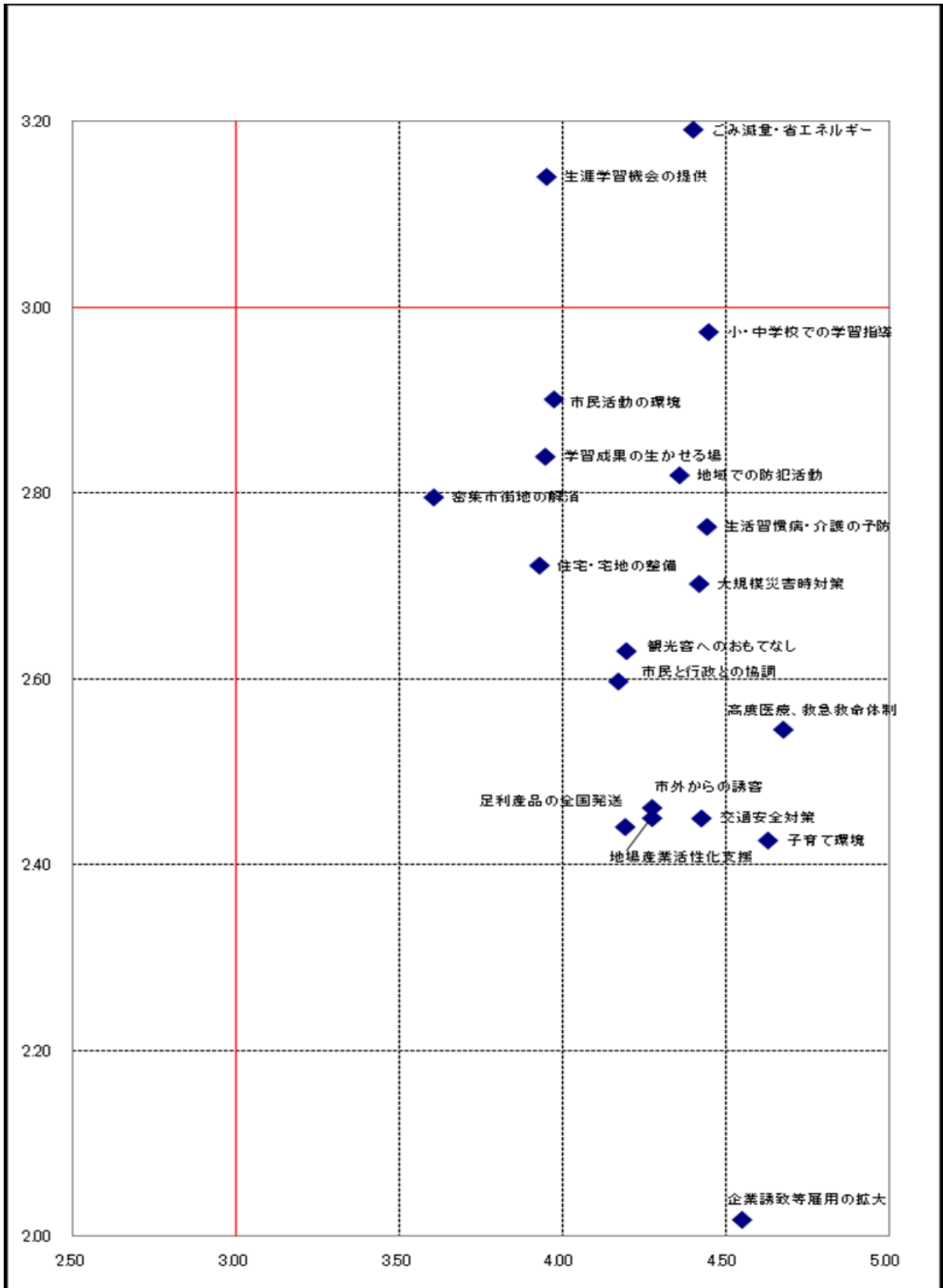
■ 満足度上位5位

		1	2	3	4	5
全体		15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	1 小・中学校での学習指導活動	5 市民活動の環境	3 学習成果の生かせる場
		3.19	3.14	2.97	2.90	2.84
性別	男性	2 生涯学習機会の提供	15 ごみ減量や省エネルギー	1 小・中学校での学習指導活動	5 市民活動の環境	3 学習成果の生かせる場
		3.08	3.05	2.99	2.85	2.80
	女性	15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	1 小・中学校での学習指導活動	5 市民活動の環境	3 学習成果の生かせる場
		3.32	3.19	2.95	2.95	2.88
年齢	20歳代	1 小・中学校での学習指導活動	2 生涯学習機会の提供	15 ごみ減量や省エネルギー	5 市民活動の環境	18 密集市街地の解消
		3.10	3.05	2.96	2.96	2.86
	30歳代	2 生涯学習機会の提供	15 ごみ減量や省エネルギー	5 市民活動の環境	1 小・中学校での学習指導活動	18 密集市街地の解消
		3.08	3.08	2.82	2.81	2.81
	40歳代	2 生涯学習機会の提供	15 ごみ減量や省エネルギー	1 小・中学校での学習指導活動	18 密集市街地の解消	5 市民活動の環境
		3.15	2.93	2.83	2.80	2.79
	50歳代	15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	1 小・中学校での学習指導活動	5 市民活動の環境	3 学習成果の生かせる場
		3.07	2.97	2.92	2.79	2.77
	60歳代	15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	1 小・中学校での学習指導活動	5 市民活動の環境	17 地域での防犯活動
		3.34	3.18	3.02	2.99	2.93
	70歳以上	15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	1 小・中学校での学習指導活動	3 学習成果の生かせる場	13 生活習慣病や介護の予防
		3.58	3.39	3.22	3.15	3.14
居住地区	旧市内	15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	5 市民活動の環境	1 小・中学校での学習指導活動	13 生活習慣病や介護の予防
		3.24	3.21	2.99	2.99	2.87
	東地区	15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	1 小・中学校での学習指導活動	5 市民活動の環境	3 学習成果の生かせる場
		3.28	3.13	3.06	2.95	2.92
	西地区	15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	1 小・中学校での学習指導活動	18 密集市街地の解消	17 地域での防犯活動
		3.15	3.15	3.03	2.90	2.88
	北地区	2 生涯学習機会の提供	15 ごみ減量や省エネルギー	17 地域での防犯活動	5 市民活動の環境	3 学習成果の生かせる場
		3.20	3.18	3.02	2.94	2.90
	南地区	15 ごみ減量や省エネルギー	2 生涯学習機会の提供	1 小・中学校での学習指導活動	5 市民活動の環境	3 学習成果の生かせる場
		3.13	3.06	2.91	2.84	2.79

■ 重要度上位5位

		1	2	3	4	5	
全体		14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	10 企業誘致等雇用の増大	1 小・中学校での学習指導活動	13 生活習慣病や介護の予防	
		4.68	4.63	4.55	4.45	4.44	
性別	男性	14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	10 企業誘致等雇用の増大	1 小・中学校での学習指導活動	13 生活習慣病や介護の予防	
		4.64	4.59	4.57	4.40	4.39	
	女性	14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	10 企業誘致等雇用の増大	1 小・中学校での学習指導活動	13 生活習慣病や介護の予防	
		4.71	4.67	4.53	4.49	4.49	
年齢	20歳代	14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	19 交通安全対策	16 大規模災害時対策	17 地域での防犯活動	
		4.66	4.60	4.55	4.49	4.41	
	30歳代	2 生涯学習機会の提供	14 高度医療、救急救命体制	10 企業誘致等雇用の増大	1 小・中学校での学習指導活動	16 大規模災害時対策	
		4.82	4.75	4.53	4.50	4.46	
	40歳代	14 高度医療、救急救命体制	10 企業誘致等雇用の増大	12 子育て環境	1 小・中学校での学習指導活動	13 生活習慣病や介護の予防	
		4.68	4.62	4.58	4.54	4.43	
	50歳代	14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	10 企業誘致等雇用の増大	13 生活習慣病や介護の予防	19 交通安全対策	
		4.67	4.63	4.56	4.44	4.40	
	60歳代	14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	13 生活習慣病や介護の予防	10 企業誘致等雇用の増大	1 小・中学校での学習指導活動	
		4.70	4.60	4.54	4.54	4.41	
	70歳以上	14 高度医療、救急救命体制	10 企業誘致等雇用の増大	12 子育て環境	19 交通安全対策	13 生活習慣病や介護の予防	
		4.60	4.59	4.59	4.52	4.50	
	居住地区	旧市内	14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	19 交通安全対策	15 ごみ減量や省エネルギー	10 企業誘致等雇用の増大
			4.61	4.53	4.46	4.43	4.41
東地区		14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	13 生活習慣病や介護の予防	1 小・中学校での学習指導活動	10 企業誘致等雇用の増大	
		4.73	4.68	4.54	4.50	4.48	
西地区		14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	10 企業誘致等雇用の増大	13 生活習慣病や介護の予防	1 小・中学校での学習指導活動	
		4.67	4.67	4.60	4.46	4.40	
北地区		10 企業誘致等雇用の増大	12 子育て環境	14 高度医療、救急救命体制	1 小・中学校での学習指導活動	16 大規模災害時対策	
		4.59	4.57	4.55	4.43	4.37	
南地区		14 高度医療、救急救命体制	12 子育て環境	10 企業誘致等雇用の増大	1 小・中学校での学習指導活動	19 交通安全対策	
		4.74	4.66	4.63	4.49	4.48	

■ 満足度と重要度の関連（分布図） <縦軸：満足度 横軸：重要度>



■ 本市の取り組みに対する自由記載意見等

1 小・中学校での学習指導活動の充実		
○ 学業以外にもマナー教育や体力づくりを充実してほしい	5件	
○ 教師の指導力不足を感じる	5件	
○ 土曜日に授業や活動を行ってほしい	3件	
2 生涯学習の様々な学習機会・場の提供		
○ 催し物が市中心部に偏っている	5件	
○ 参加したいが時間がない	3件	
○ 対象年齢に偏りがある	2件	
3 学んだことが様々な活動に生かせる場づくり		
○ 学んだことを生かせる場が少ない	4件	
○ 取組内容がよくわからない	3件	
4 市民と行政との協働の取り組み		
○ 市民の声を聞く機会をより多く設けて欲しい	6件	
○ 市民と行政の考え方にずれがある、行政が一方的	4件	
○ きっかけが少ない	3件	
5 ボランティアなどの市民活動がしやすい環境づくり		
○ 市民への呼びかけ、広報活動がさらに必要	3件	
○ ボランティアの人材不足	3件	
○ 支援窓口が分かりづらい	2件	
6 市外から多くの来訪者に来ていただくための取り組み		
○ 魅力が少ない、観光スポットを増やすべき	8件	
○ もっとPRを強化すべき	5件	
○ 大型ショッピングモールを誘致すべき	5件	
7 足利産品の全国発信の取り組み		
○ 足利には名産品がない、分からない	10件	
○ もっとPRを強化すべき	7件	
○ 産品を販売できる道の駅やアンテナショップなどを設置すべき	6件	
8 観光客へのおもてなしの向上の取り組み		
○ 市民の意識改革が必要	4件	
○ 回遊バスを設置してはどうか	3件	
○ 市民以外から収入を増やす取組をすべき	3件	
9 地場産業活性化の支援		
○ 新規事業、新製品開発にもっと支援をすべき	3件	
○ 市の発展にとって地場産業の活性化は非常に重要	2件	
10 企業誘致等による雇用の増大の取り組み		
○ 雇用が少ない、取り組みが弱い	11件	
○ 非常に重要、今後の取り組みに期待	7件	
○ 市外から人口増につながる優秀な企業の誘致をしてほしい	5件	
11 住宅・宅地の整備		
○ 市街化区域と調整区域の見直しが必要	3件	
○ 人口が減少しているのに住宅の整備は必要ない	3件	
○ 地域によって偏りがある	2件	
12 安心して子どもを生み育てる環境づくり		
○ 子どもの遊ぶところが少ない	11件	
○ 他市と比べるとかなり遅れていると感じる	9件	

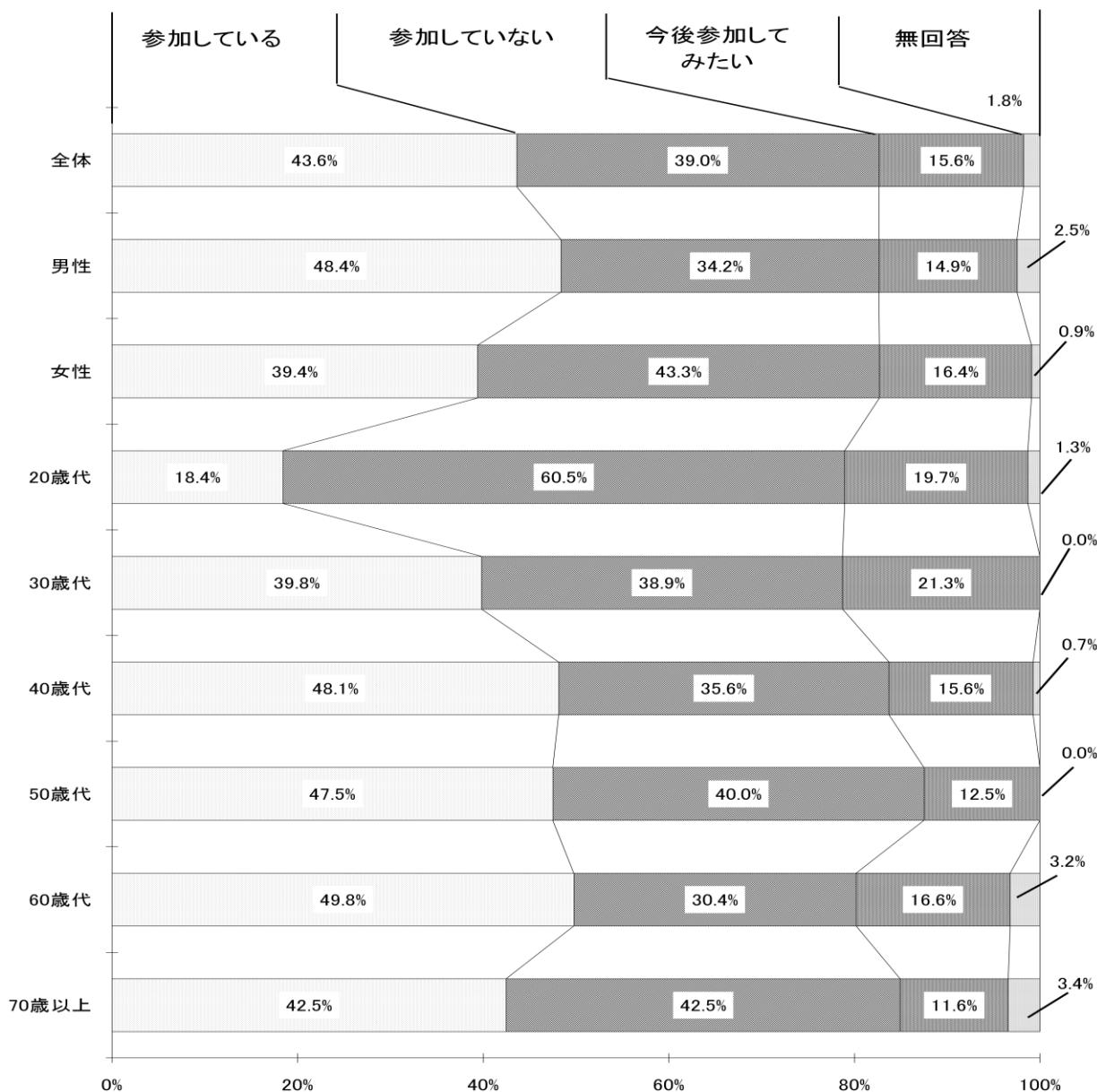
○ ワクチン接種や第3子出産支援などの助成を充実してほしい	8件
13 生活習慣病・介護の予防対策	
○ 個人の問題、自己対策が必要	4件
○ 介護についてこれまで以上に助成をしてほしい	3件
14 高度医療、救急救命体制の整備・充実	
○ 新しい日赤に期待	4件
○ 受け入れ態勢の整備、地域連携が必要	3件
○ 日赤への支援を充実すべき	3件
15 ごみ減量や省エネルギーへの取り組み	
○ ごみ減量にごみ袋の有料化は有効だと思う	5件
○ 分別品目をもっと多くすべき	3件
○ 分別を守らない人が多い、徹底すべき	3件
16 大規模災害時への対策	
○ 対策内容が不明、いざというとき何をすればいいのかわからない	9件
○ 災害弱者に対する対策をすべき	3件
○ 危険箇所、避難所がわからない、もっとPRすべき	3件
17 地域における防犯活動の推進	
○ 地域による取り組みが必要	8件
○ 活動しているのかどうかわからない	3件
○ 街灯が暗い	2件
18 密集市街地の解消への取り組み	
○ 密集市街地といえるところがあるのか疑問	2件
○ 緊急車両が入れないところは道を拡幅してほしい	2件
19 高齢者や障害者など誰もが安心して移動できる交通安全対策	
○ 段差やガードレールなどさらなる歩道の整備をすべき	6件
○ 自動車に頼らない交通手段の整備をすべき	4件

(3) 市民の生活実践

① ボランティア活動等への参加

問2 あなたは、ボランティアや自治会・育成会などの社会貢献活動に参加していますか。

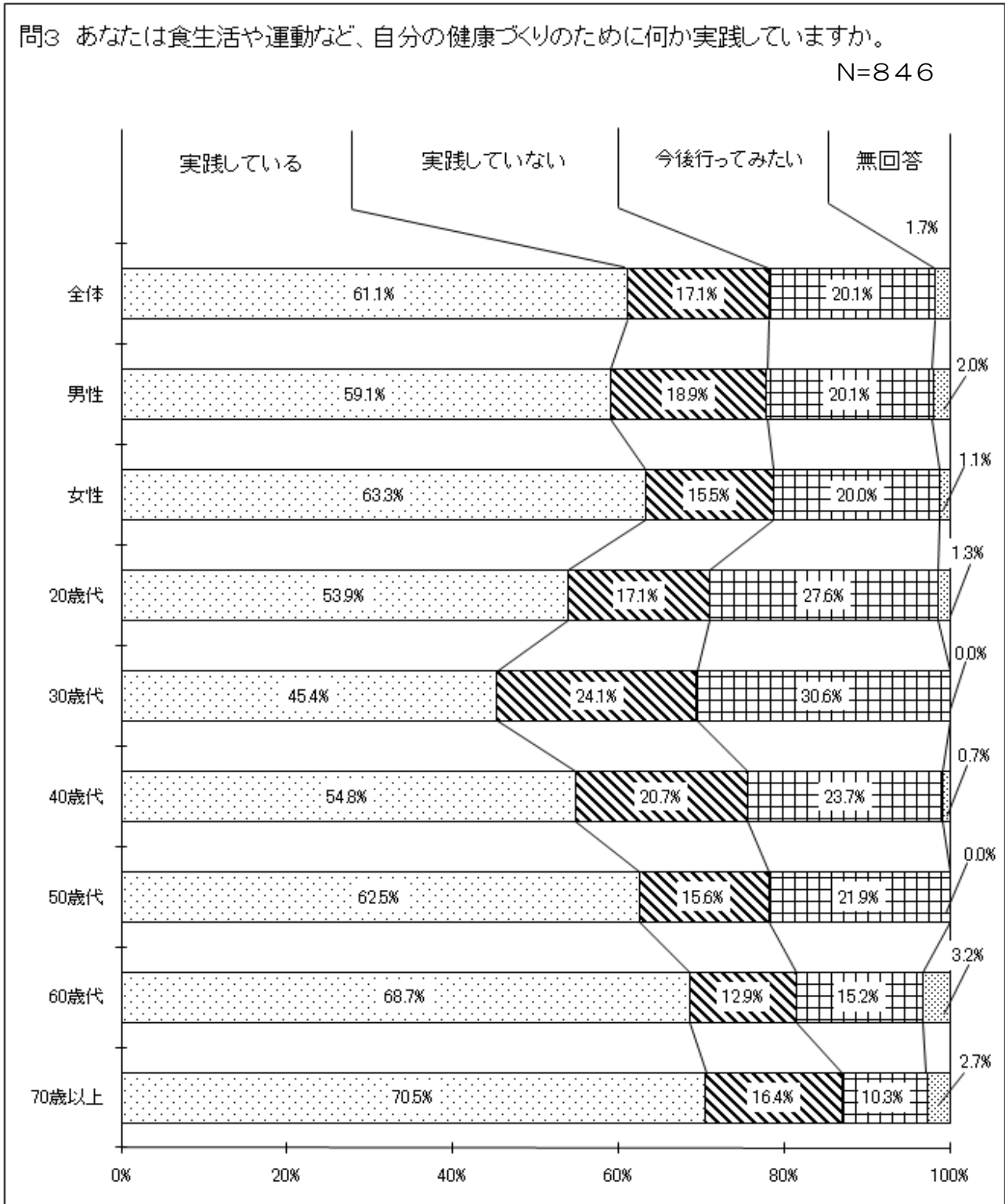
N=846



ボランティア活動等に「参加している」方の割合は、43.6%

ボランティアや自治会・育成会などの社会貢献活動に「参加している」方の割合を性別でみると男性の方が48.4%と割合が高く、年代別では、60歳代が最も高くなっています。また、「参加していない」方の割合では20歳代が最も高い割合となっています。

②健康づくりのための実践



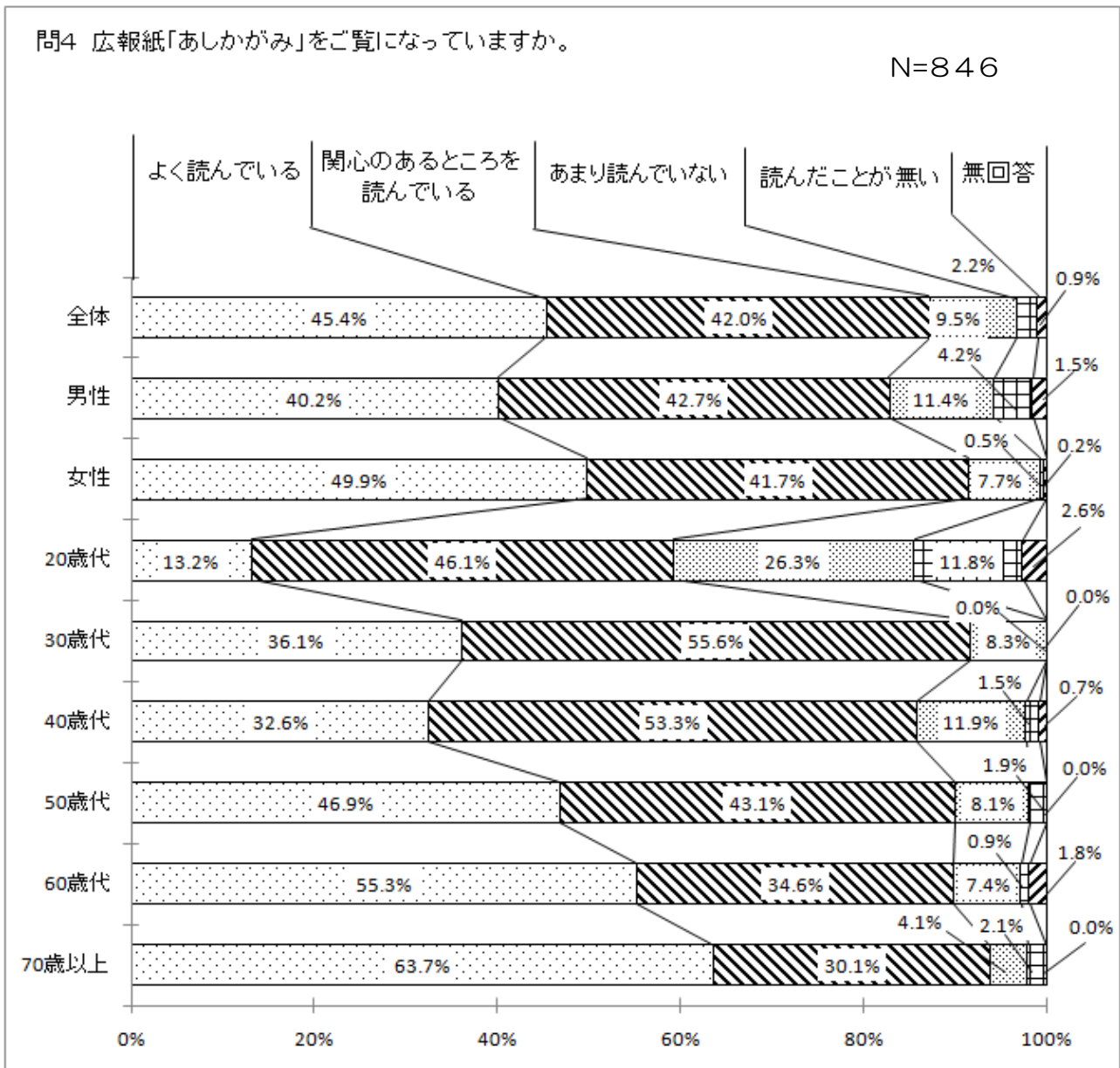
健康づくりを「実践している」方の割合は、61.1%

食生活や運動などで健康づくりを「実践している」方の割合は、61.1%で「実践していない」方の割合は、17.1%、「今後行ってみたい」方の割合は、20.1%となっています。

性別では、女性の方の「実践している」割合が高く、年代別では、70歳以上の方が約70%を超えるなど、年齢が高くなるほど実践率も高くなる傾向がみられます。

(4) 情報について

① 「あしかがみ」の閲読



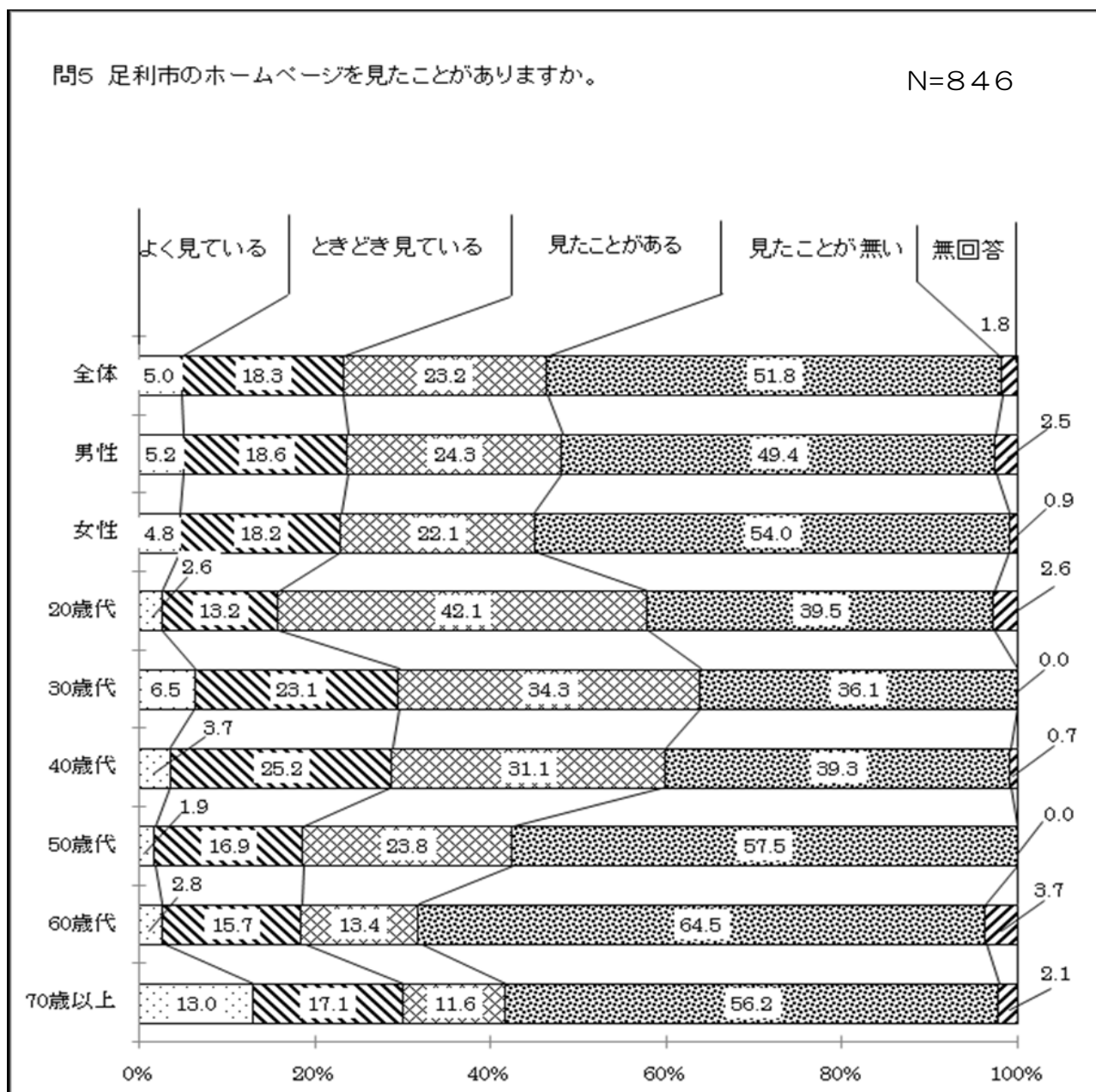
広報紙「あしかがみ」の閲読率は、87.4%

「あしかがみ」を「よく読んでいる」方は45.4%、「関心のあるところを読んでいる」方は42.0%で、これを合計すると、『読んでいる』方の割合は87.4%となります。

性別では、女性の方の『読んでいる』割合が高く、91.6%となっています。

年代別では、「よく読んでいる」方の割合は、年代が上がるに従ってより高くなる傾向にあり、70歳以上の63.7%が最も高くなっています。

② 足利市ホームページの閲覧



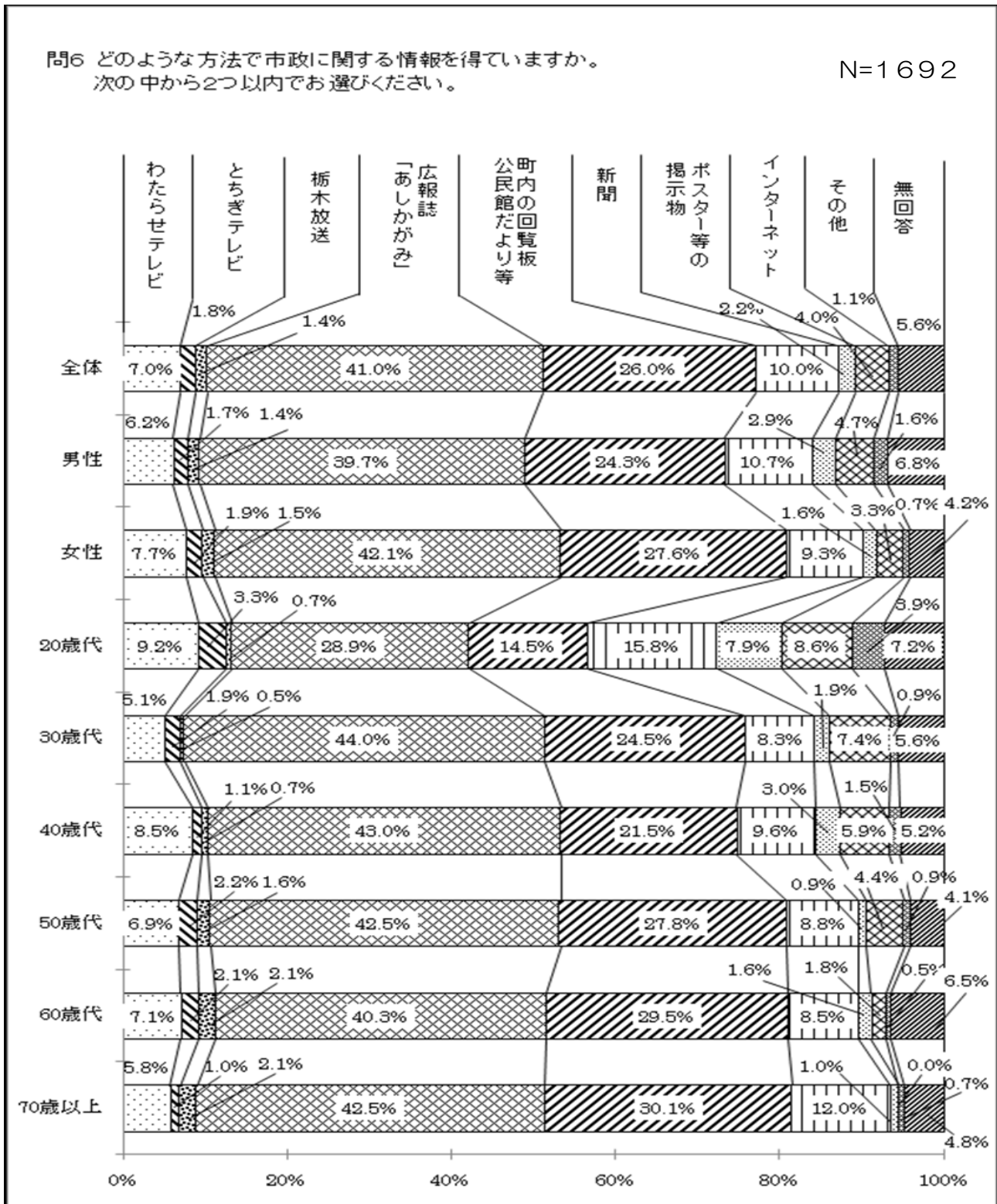
足利市ホームページの閲覧率は、46.5%

足利市のホームページを「よく見ている」方の割合は5.0%、「ときどき見ている」方は18.3%、「見たことがある」方は23.2%であり、これらを合計すると、ホームページの閲覧率は46.5%となります。

性別では、男性の方の閲覧率が高く、年代別では30歳代の閲覧者の割合が63.9%と最も高く、60歳代の31.9%が最も低くなっています。

また、「よく見ている」方の割合では、70歳以上の方が13.0%で一番高くなっています。

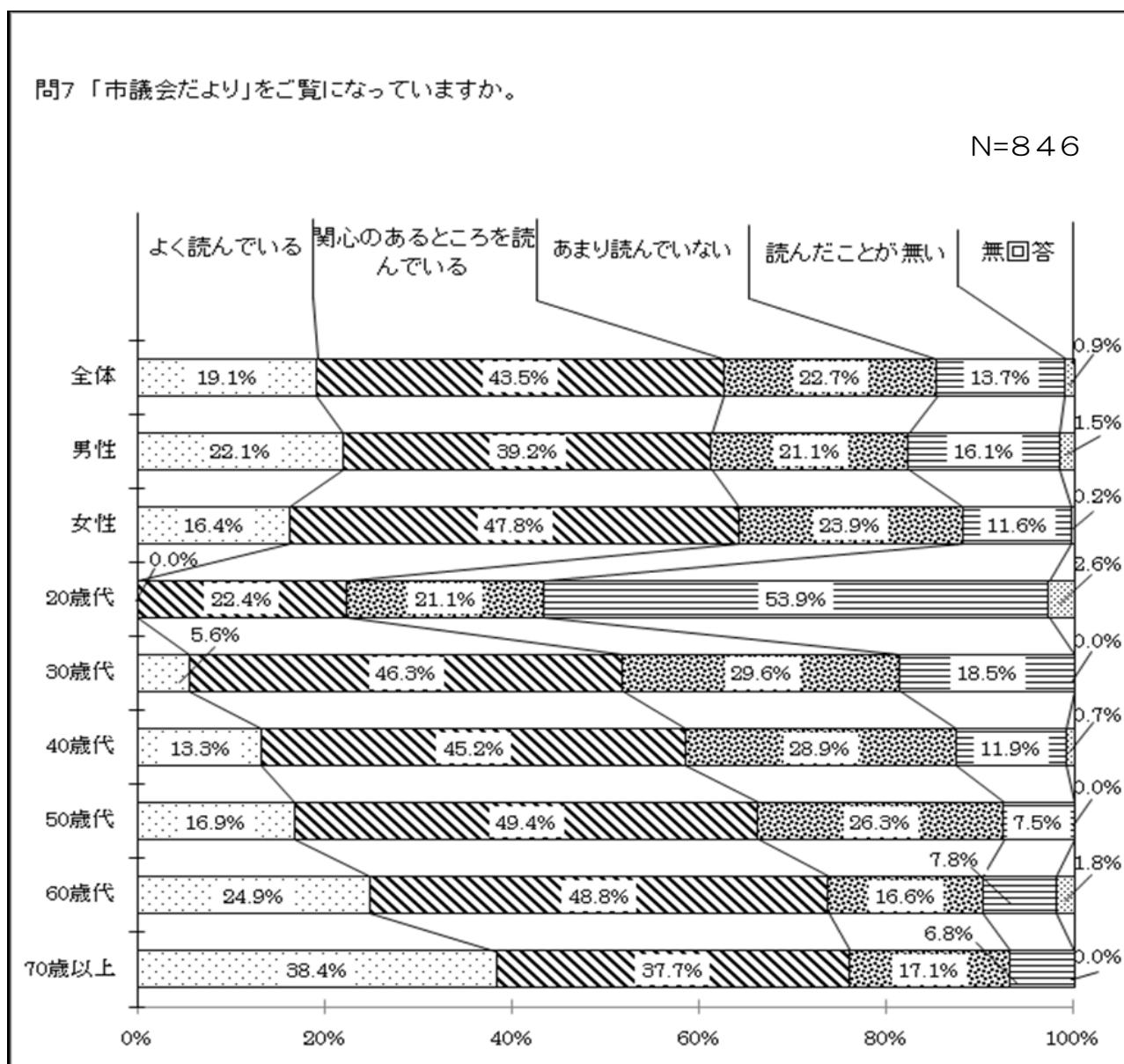
③ 市政情報の入手手段



市政情報の入手手段は、「あしかがみ」が41.0%

市政に関する情報の入手手段では、割合の高い順に広報紙「あしかがみ」が41.0%、「町内の回覧板」が26.0%、「新聞」が10.0%、「わたらせテレビ」が7.0%、「インターネット」が4.0%となっております。男性、女性やどの年代の方々においても過半数の方が紙媒体の手段により情報を得ています。

④「市議会だより」の閲読



「市議会だより」の閲読率は、62.6%

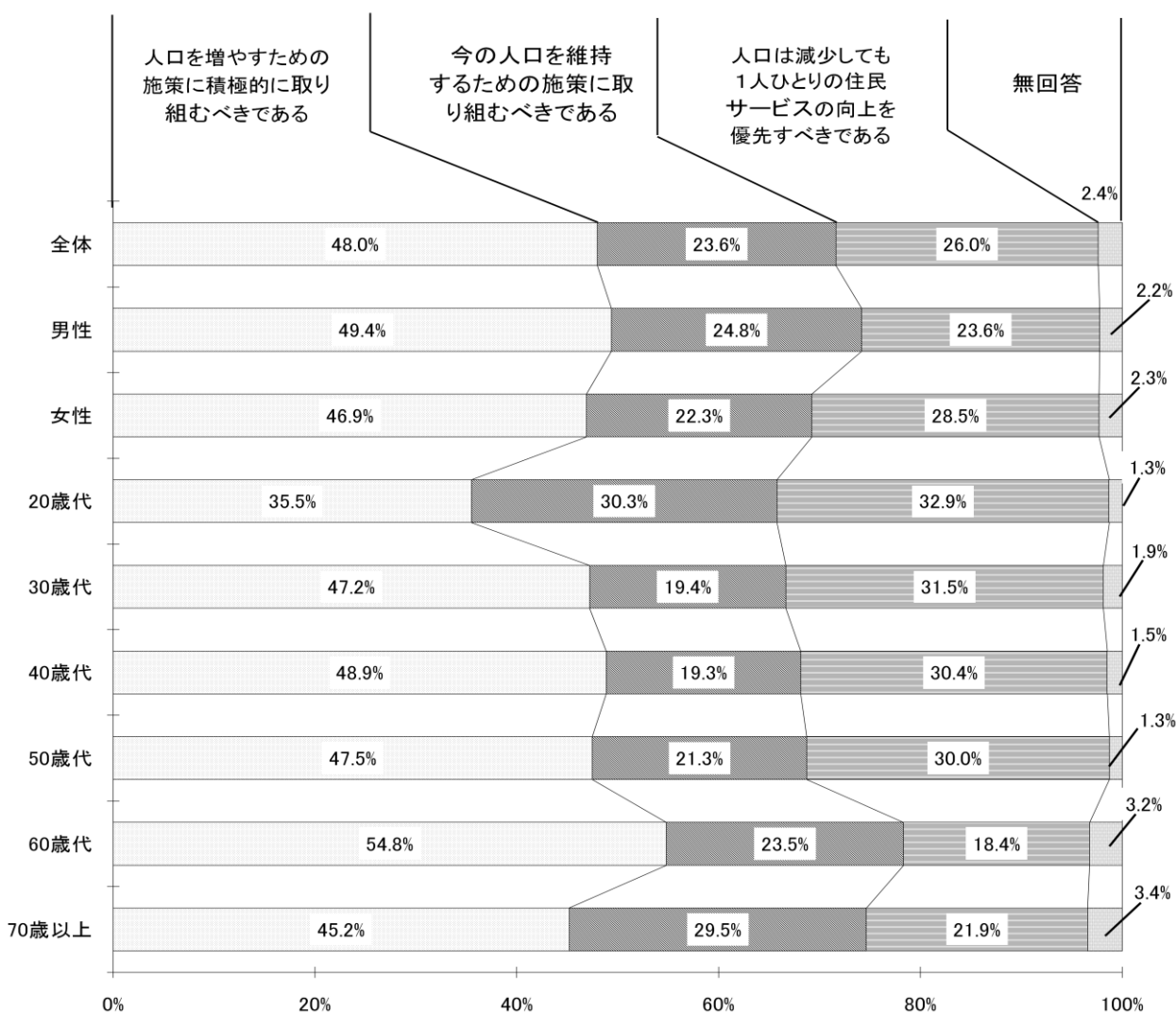
「市議会だより」の閲読については、「よく読んでいる」方の割合が19.1%、「関心のあるところを読んでいる」方の割合が43.5%であり、これらを合わせた閲読率は62.6%となっています。性別では、女性の方の閲読率が高く64.2%となっています。

年代別では、「広報紙あしかがみ」と同様の傾向を示し、年代が上がるに従って、閲読率が高くなっています。また、「よく読んでいる」方の割合では、70歳以上の方が38.4%で最も高く、閲読率でも70歳以上の76.1%が最も高くなっています。

(5) 今後の人口に対する本市の取り組み

問8 「人口減少」について今後の人口に対する本市の取り組みについて、
あなたのお考えに近いものを次の中からお選びください。

N=846



「人口を増やすための施策に積極的に取り組むべきである」を選んだ方の割合が48.0%

「人口を増やすための施策に積極的に取り組むべきである」を選んだ方の割合が48.0%で最も高く、次いで、「人口は減少しても1人ひとりの住民サービスの向上を優先すべきである」を選んだ方の割合が26.0%となっています。

また、年代別では「人口を増やすための施策に積極的に取り組むべきである」を選んだ方は60歳代の方が一番多く、「人口は減少しても1人ひとりの住民サービスの向上を優先すべきである」を選んだ方は20歳代の方が一番多くなっています。